

平成 30 年度 国際理解ワークショップ 進行シート

作成日： 2018 年 08 月 02 日

大学名： 敬和学園大学

タイトル： 水ってどこでもきれいなのか？～水から学ぶ環境問題～

1：本ワークショップの要旨

世界にはきれいな水が当たり前存在する地域と、干ばつや水の汚染によりそれが簡単には手に入らない地域がある。私たちが暮らす日本は前者の地域に属しているため、きれいな水が健康で安全な生活に不可欠だという事実を実感している人はほとんどいない。そこで、実際に日本や世界で起こっている水質汚染などの水問題、生態系の破壊といった地球的問題の実態と原因を学び、命の源である水のありがたみを児童生徒とともに考えていきたい。

2：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

- ・水のありがたみを実感してもらう
- ・世界にはきれいな水を手に入れることが困難な国があることを知ってもらう
- ・水に関する問題に関心を持ってもらう
- ・その問題に対して、私たちができることについて考えてもらう

3：本トピックをとりあげる理由

私たちの生活には当たり前のように水が存在し、何気なく使っているため、水のありがたみを実感できる機会は少ない。そこで本ワークショップでは「水のありがたみ」を 1 つのテーマとして取り上げ、私たちが 1 日にどれほどの水を使用しているのか、ほかの国では同じように水を豊かに使うことができているのか、「水はどこでもきれいなのか」を児童生徒とともに考え、「水のありがたみ」を実感できるきっかけになりたい。

以上が、我々が本トピックを取り上げる理由である。

4：活動過程 (使用時間： 100 分程度 参加人数： 40 名程度)

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・ 説明・動きなど	ねらい	使用する 教材・備品	予想される反応、 その他注意事項

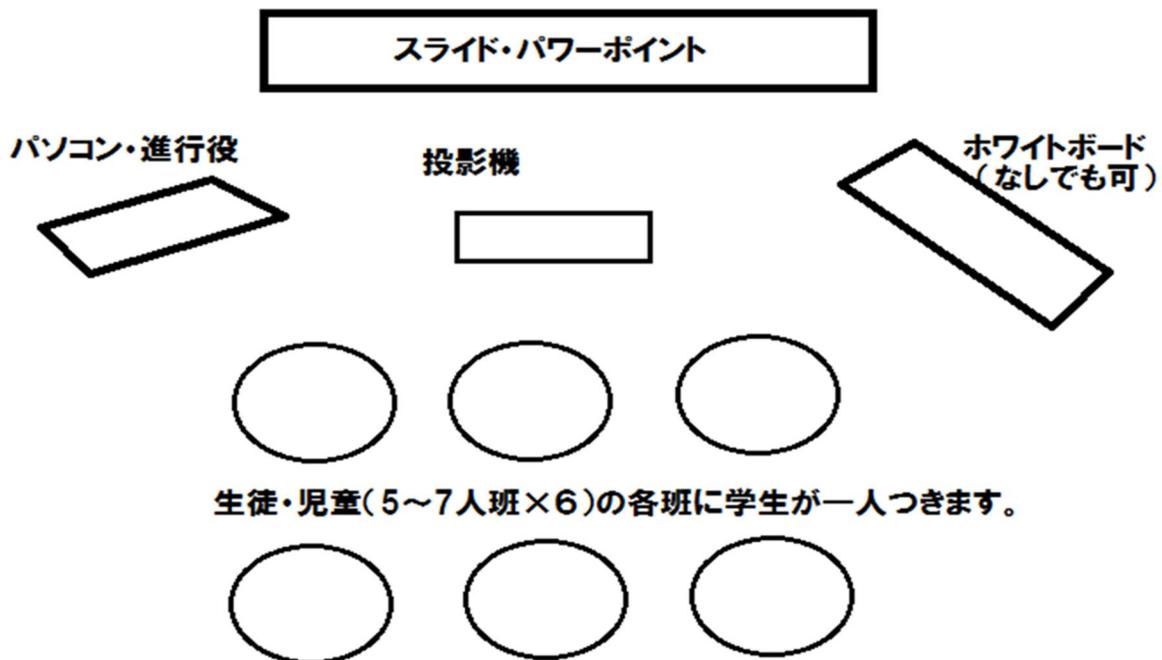
<p>導入 :起 (25分)</p> <p>(15分)</p>	<p>自己紹介</p> <p>アイスブレイク</p>	<p>写真やイラストから水を使用している場面を探す。 見つけたら、該当する箇所にシールを貼る。</p>	<p>私たちの生活にどれだけ水が関わっているか写真やイラストを通じて考えてもらう。 ファシリテーターと児童生徒間にある緊張をほぐす。</p>	<p>パワーポイント 写真 イラスト シール</p>	<p>「今朝も顔を洗うために蛇口から水を出したよ」 「トイレでも水が出てくるよね」</p>
<p>(10分)</p>	<p>振り返り</p>	<p>アイスブレイクの振り返り 他国の水を使用している風景の写真と日本の写真を用いての比較をする。</p>	<p>同じ水を使う風景でも日本と他国では違う場合があることを実感してもらう。 日本ではきれいな水が簡単に手に入るが、そうではない国があることを知ってもらう。</p>	<p>パワーポイント 写真 イラスト</p>	<p>「日本だと蛇口からきれいな水が出るけど、川や井戸から水を汲んでくる国もあるんだね」</p>

<p>展開：承 (30分) (20分)</p>	<p>サバイバルゲーム</p>	<p>1日1人あたり50Lとしてどのように節水などをして生活するかをグループで考えてもらう。 「日本では1日に1人あたり200Lの水を使用していますが、50Lの水があれば生活するには十分とされています。実際に50Lでどのように生活できるかをグループワークで考え、まとめてみましょう。」</p>	<p>日本人が水を使いすぎていることを実感してもらおうとともに、水のありがたみや、ほかの国における水の価値について考えてもらう。</p>	<p>パワーポイント ペン 模造紙 ふせん</p>	<p>「お風呂にはいると1つの浴槽で200Lも使っているのか」</p>
<p>(10分)</p>	<p>休憩</p>		<p>休憩を通じて児童生徒らとの交流を深める。</p>		

<p>発展 : 転 (25分)</p>					
<p>(15分)</p>	<p>クイズ</p>	<p>水に関するデータを用いたクイズを出題する。 例) 日本では何に対して一番多く水を使用しているのでしょうか？ 1 分間蛇口の水を出しっぱなしにすると、何Lの水が流れてしまうのでしょうか？ そのほか上下水道や仮想水に関するクイズを出題する。</p>	<p>水に関するデータを用いたクイズを通して「なぜ私たちは水を多く使ってしまうのか」について考える。 そして「水を使いすぎると起こる問題」について触れ、次のワークにつなげる。</p>	<p>パワーポイント 写真 イラスト 関連するグラフなど ペットボトル ブルーシート</p>	<p>「歯磨きの時に水を出しっぱなしにする12Lも無駄にしまうのか」 「普段食べるものの原料にもたくさん水が使われているなんて知らなかったよ」</p>
<p>(10分)</p>	<p>劇 「水を使いすぎると何が起こるのか？」</p>	<p>「水を使いすぎると起こる問題」を題材にした劇を行う。</p>	<p>事前のワークを振り返りつつ、劇を通して「水を使いすぎると起こる問題」について考えてもらう。</p>	<p>パワーポイント 劇に関する小道具など</p>	<p>「水を使いすぎるとこんなにも悪循環が生まれてしまうのか」 「私たちになにができるのかな」</p>

<p>まとめ : 結 (20分)</p>	<p>まとめ</p>	<p>全体のまとめ これまでのワークを通じて私たちに何ができるかを考えてもらい、まとめてもらう。</p>	<p>これまでのワークを振り返り、水のありがたみや各々でできることを考えてもらう。</p>	<p>パワーポイント ペン 画用紙または模造紙 ふせん</p>	<p>「今日からお風呂の時にシャワーをその都度締めよう」 「水があることが当たり前だと思っていたけどそうではない国もあるんだね」</p>
--------------------------	------------	--	---	---	--

5 : 会場のセッティング



6：使用する教材

- ・パワーポイント
- ・ペットボトル
- ・ブルーシート
- ・模造紙または画用紙
- ・ペン
- ・シールやふせん
- ・関連する写真、イラスト、グラフなど

7：参考にした資料

『地球の未来と「水」1 生命をささえる、めぐる水』 岸上祐子、嶋田泰子著 さ・え・ら書房、2007年

『地球の未来と「水」2 水をつかう、水を流す』 岸上祐子、嶋田泰子著 さ・え・ら書房、2007年

『100年後の水を守る～水ジャーナリストの20年～』 橋本淳司著 文研出版 2015年

『ユニセフの主な活動分野 水と衛生』 公共財団法人日本ユニセフ協会 最終更新日：2017年、URL 取得日：2018年7月30日 URL：https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_act01_03.html

8：その他

- ・児童生徒らの班編成は5～7人班×6班にさせていただけると嬉しいです。
- ・パワーポイントを使ったワークショップになるので、パソコンやスライドを使用できる環境を用意していただきたいです。
- ・そのほか不明な点に関しましては、事前打ち合わせの際に確認したいと考えています。